

(本発表のお問い合わせ先)
美術館美術課
広報資料取扱主任: 課長補佐 牧野裕二
電話 087-823-1711

【市長定例記者会見】

高松市美術館特別展「谷川俊太郎 絵本★百貨展」を開催します。

美しいより、
おもしろく。
意味があるより、
おもしろく。

hope department

谷川俊太郎
絵本★百貨展

△
◎
◆
♥
☆
■

Shuntaro Tanikawa: EHon Hyakka-ten

★観覧料
一般 1,200(960)円、大学生 600(480)円
高校生以下 無料

※()内は前売、20名以上の団体料金
■身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
■前売券は、高松市美術館1階受付、高松市役所生涯、ゆめタウン高松サービスカウンター、宜館書店本店及び南本店にて7月19日(金)まで販売(詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください。)

高松市美術館
〒760-0027 高松市東山町10-4
Tel. 087-823-1711
www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/

2024.
7.20—9.16
土 月・祝

開館時間：9:30-17:00
ただし、金・土曜日は19:00閉館
入室は閉館30分前まで

月曜日休館
ただし、8月12日(月・振替)、9月16日(月・祝)は開館、
8月13日(火)は休館

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

主催：高松市美術館 ■企画協力：ブルーシープ株式会社

2024年7月20日(土)～9月16日(月・祝)

絵本から飛び出した「百貨店」のような展示空間！

詩人の谷川俊太郎(1931-)は1960年代から現在まで、さまざまな絵描きや写真家と200冊にも及ぶ絵本を作ってきました。ことばあそび、世界のありようを認識する手がかり、ナンセンスの楽しみ。そして生きることの面白さや大変さ、尊さ、死や戦争までをテーマに、今日も絵と言葉による表現に挑んでいます。

バラエティ豊かな絵本に共通するのは、読み手に対する谷川俊太郎の希望の眼差しです。本展覧会では約20冊の絵本を取り上げ、多彩なクリエイターとともに、絵本の原画、絵や言葉が動き出す映像、朗読や音、巨大な絵巻や書き下ろしのインスタレーション作品などを展示します。絵本の世界から飛び出した、子どもから大人まで誰もが楽しめるおもしろい展覧会です。

(本発表のお問い合わせ先)

観光交流課

広報資料取扱副主任: 宮武 伸宇

電話 839-2417

【市長定例記者会見】

屋島山上地区における自動運転バス実証調査 事業の報告と今後の取組について

令和5年度に、高松市と、株式会社イースト（東京都千代田区、代表取締役 長島秀晃）は、コンソーシアムを組成し、同コンソーシアムとして、令和4年度「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査事業）」（国土交通省）の採択を受け、屋島山上（高松市屋島東町地内）において、「自動運転バスの実証調査」を実施しました。

本事業は、賑わいや活性化の動きが広がる屋島におきまして、地域公共交通の持続可能性の確保に向けて期待されている、昨今、技術的進展の著しい自動運転バスについて、実地走行を行い、技術的、経営的観点からの評価や、社会受容性についての確認を行ったものです。

令和6年度においては、高松市と、株式会社イースト（東京都千代田区、代表取締役 長島秀晃）とで、コンソーシアムを組成し、同コンソーシアムとして、昨年度の実証調査により得られた課題に対応するため、中型バス車両によるレベル4実証運行に向けた合意形成に必要な調査を実施します。

国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）の採択を受けています。

1 令和5年度の実証調査の報告

1) 一般運行期間

令和6年2月23日～3月3日（2月25日除く）9日間

2) 運行区間

「屋島山上観光駐車場」（発着）～「屋島スカイウェイ視点場」（往復）

2 令和6年度の事業概要

1) 実施主体

高松市屋島地区自動運転社会実装推進事業コンソーシアム
（構成団体） 高松市
株式会社イースト
（東京都千代田区、代表取締役 長島秀晃）

2) 実施内容

中型バス車両によるJR屋島駅から山上駐車場までの、
レベル4実証運行に向けた合意形成に必要な調査を実施
（運行需要予測、運行リスクアセスメント（3Dマッピング含む））



3 参考資料

屋島山上地区における自動運転バス実証調査事業の報告と今後の取組について（R.6.7発表）